



新元号 豪快に揮毫

新元号「令和」の決定を祝う書道パフォーマンスが1日、県内各地で開かれた。アシカの仲間・オタリアや書道家が揮毫。見守る大勢の人々は新たな時代に向け笑顔を見せた。
(報道部)

県内各地 笑顔で催し

横浜・八景島シーパラダイス(横浜市金沢区)ではオタリアのレオ(雄、16)が特製の丁字形の筆をくわえ、「令和」を豪快に書き上げた。書道歴11年で、ハネやトメもしっかり。体長2.5メートル、体重200キログラムの巨大なオタリアによる新元号の揮毫パフォーマンスは7日まで1日2回実施する。

温泉水パーク「箱根小涌園ユネッサン」(箱根町)では新元号の発表直後、館内の大型スクリーンで慶野「平成」や「昭和」といったこれまでの元号を手本にした。

光市支配人が長さ約1.5メートルの筆で新元号を書き始めると、入浴客の目はくき付けた。ボードに「令和」の文字が張り出されると拍手が沸き起こった。

する(入場時に氏名が確認できる公的書類の提示が必要)。

一方、横浜スカイビル(横浜市西区)では書道家・粟津紅花さんが揮毫。粟津さんは「いい時代になるように気持ちを含めて書いた。とても書きやすい字が選ばれたと思う」と感想を述べた。粟津さんが「令和」と書いた色紙も来場者にプレゼント。抽選に当たった中学生は「新元号はまだピンと来ないが、元号が変わっても頑張っている野球を続けたい」と話した。

同ビルでは14日まで、神奈川新聞の報道写真で「平成」を振り返る写真展を開催。揮毫された書も会場に展示される。



新元号「令和」を伝える本社号外を手にしようと大勢が集まった=1日、JR横浜駅東口(花輪 久写す)



ことを受け、号外を発行した。面談カラーで、「憲政史上初の事前公表」や「5月1日施行」を見出しでうたった。配布数は約1万枚で、横浜駅周辺、JR川崎駅、JR逗子駅、葉山町役場で配り、午後2時ごろから1時間ほどでなくなった。

①特製の筆をくわえ、新元号「令和」を豪快に書き上げたオタリアのレオ②横浜市金沢区の横浜・八景島シーパラダイス③新元号発表に合わせて披露された書道パフォーマンス④箱根小涌園ユネッサン⑤書道家が新元号を揮毫(きこう)するパフォーマンスを披露した1日、横浜市西区の横浜スカイビル10階(花輪 久写す)

号外に人殺到 1万枚を配布 神奈川新聞社は1日、新元号「令和」が発表された

後、横浜駅周辺、JR川崎駅、JR逗子駅、葉山町役場で配り、午後2時ごろから1時間ほどでなくなった。(報道部)